

平成27年度 草津市水道事業報告書

(1) 概況

イ 総括事項

本市の水道事業においては、平成22年度に策定した長期的な経営戦略である「草津市水道ビジョン」に基づき事業を行なっていますが、本格的な人口減少社会の到来や東日本大震災の発生など水道事業を取り巻く環境は刻々と変化しています。そこで新たな課題に対応するため「草津市水道ビジョン」の一部見直しを行いました。

今回見直した「草津市水道ビジョン」を基に、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めていきます。

本年度は、施設・管路面では、昨年度に引き続きロクハ浄水場の耐震性向上や、アセットマネジメントによる老朽化した管路の更新など、災害や水質事故などの非常時にも安定して水を供給できる施設整備を進めました。

組織体制面では、高齢化が進む技術系職員を新たに確保する等により技術承継を図りました。

経営面では、「草津市水道ビジョン」とともに「草津市水道事業経営計画」の見直しを行い、中長期的な視点から、効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組みました。また、平成23年10月1日から平成28年3月31日までの間、利益積立金を用いて料金の一律10%還元を実施していましたが、組織の効率化や経営の合理化等の取組みを行うことで、財政的な見通しが立ったことから、引き続き、平成34年3月検針分まで水道料金を一律10%還元します。

今後とも、安全でおいしい水をつくり届け、快適な市民生活を支えていけるよう努力していきます。

(給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,599万 m^3 で前年度比0.6%減、有収水量については約1,520万 m^3 で前年度比0.3%増、有収率は前年度より0.9ポイント増加して95.1%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持していますが、継続的に実施している管路診断業務（配水管漏水調査）や、計画的な老朽管更新を推し進めることによって、無効水量の減少、有収率の向上に努めていきます。

収益的収支の状況については、収益総額は24億10万197円で前年度とほぼ変化なし、費用総額は20億932万9,671円で前年度比3.2%減少となり、その結果、3億9,077万526円（前年度比20.6%増）の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金は、減債積立金に1億9,539万円を積み立て、残額1億9,538万526円を建設改良積立金に積み立てる考えです。

資本的収支については、収入額5億1,294万8,588円（前年度比14.7%減）に対し、支出額は15億3,033万4,078円（前年度比16.7%減）となり、翌年度に充当する繰越工事財源632万5,926円を除くと、差引10億2,371万1,416円の資金不足が生じました。この不足額については、損益勘定留保資金6億3,638万4,333円、減債積立金1,621万円、建設改良積立金3億793万5,413円ならびに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,318万1,670円で補てんしました。

なお、建設改良費のうち旧低区配水池送水管更新工事他2件については、地方公営企業法第26条第1項の規定により2億4,547万円を、営業費用のうち同工事については、同法第26条第2項ただし書の規程により79万6,000円を平成28年度に繰り越しました。

区 分	平成27年度	平成26年度	増 減	増減比率	
給水件数	33,612件	33,347件	265件	0.8%	
配水量	総 量	15,985,283 m^3	16,082,870 m^3	Δ 97,587 m^3	Δ 0.6%
	一日最大	52,179 m^3	48,994 m^3	3,185 m^3	6.5%
	一日平均	43,676 m^3	44,063 m^3	Δ 387 m^3	Δ 0.9%
有収水量	15,195,566 m^3	15,157,094 m^3	38,472 m^3	0.3%	
有 収 率	95.1%	94.2%	0.9%	—	